

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No.	30-004
担当	秋山
内線等	23-7173

PDCA	事務事業名	博物館一般事務	部課等名	教育部 博物館			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (2) 文化の振興 個別施策： ②博物館の活用					
	根拠法令等	博物館法、半田市立博物館条例、半田市立博物館条例施行規則					
	対象・目的	博物館の見学や各種の博物館講座への参加を通して、郷土の歴史、伝統文化や科学、芸術への理解を深める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学芸員の専門分野を活かした講座や企画展に合わせた講座・関連イベントを実施する。</li> <li>常設展示室の更新・充実に加え、廊下やエントランスホール等も展示スペースとして活用する。</li> </ul>					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①博物館年間入館者数	95,961	89,128	53,352	人	
		②博物館講座参加者数	344	431	0	人	
		事業費	7,375	6,980	6,668	千円	
		人件費	8,210	7,274	6,159	千円	
		総事業費	15,585	14,254	12,827	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①入館者1人当たりのコスト	162.4	159.9	240.4	円		
	②博物館講座参加者1人当たりのコスト	944	898	0	円		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①博物館年間入館者数	実績値	95,961	89,128	53,352	人
			目標値	100,000	100,000	100,000	
		②博物館講座参加者数	実績値	344	431	0	人
			目標値	260	280	450	
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
事業の評価・課題	<p><b>B</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月4日～5月31日まで臨時休館となった。6月以降もコロナの影響により客足が戻らず、前年度比4割程度の入館者数減となった。また、博物館講座は全て中止となった。臨時休館中に収蔵資料の整理を行うとともに、夏休み期間中には常設展示や受付前のスペースを利用してミニ展示を開催することで、展示の更新及び集客を図った。</p>						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p><b>改善推進</b></p> <p>博物館講座については、参加人数の制限や内容の見直しにより、コロナ禍でも感染対策を講じながら開催できるよう工夫していく必要がある。また、収蔵資料の整理及び調査研究を積極的に進め、常設展示の内容を更新し充実させることで、さらに魅力ある博物館づくりを推進していく。</p>					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①博物館年間入館者数	100,000	人			
		②博物館講座参加者数	450	人			